

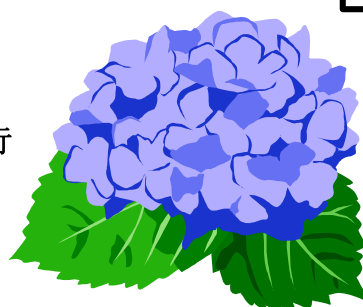
白岡ニュータウン自治会だより

挨拶と花と緑の
明るいニュータウン

初夏号

平成17年6月1日

白岡ニュータウン自治会発行
会長 森田 貴美子



《第17回通常総会報告》

総務部長 池上 嘉一

白岡ニュータウン自治会第17回通常総会が、みどりの日の4月29日（金曜日）に白岡東小学校の体育館において開催されました。当日は好天にも恵まれ、またゴールデンウィークの初日にもかかわらず多くの会員の皆様のご出席をいただきました。出席会員数は委任状による出席594戸を含めて792戸の出席があり、出席率約70%を数え本総会は適法に成立致しました。

総会は定刻より5分遅れて9時35分より森田会長の挨拶および平成16年度の活動総括で始まり、議事は総会において選出された横山議長の進行により円滑に進み、自治会執行部より提出しました議案、

- (1) 平成16年度活動報告
- (2) 平成16年度決算報告
- (3) 平成17年度役員選任案
- (4) 平成17年度活動計画案
- (5) 平成17年度予算案
- (6) 自治会規則改正案
- (7) CATV 規約改正案

の全てが原案どおり承認、可決されました。

また、総会では出席会員の皆様の活発なご意見、ご質問をいただきました。主な質問は



- ① (Q) デジタル説明会の議事録に一部欠落しているところがあるが、何故なのか。
(A) 発言をされた方が質問を取り下げたので議事録から削除したが、今後は気をつけるようにします。
- ② (Q) CATV の管理費が戸建て6,000円、テラス10,000円となっているが、この違いは。
(A) テラスはテレビ視聴に戸建てラインと別のシステムを持っており、その管理費を別途負担している。平成15年に 自治会とテラス管理組合とで合意のうえ2ch 視聴費用として年間10,000円を負担してもらっている。
- ③ (Q) 自治会加入について最高裁の判決があったが、ニュータウンではいかがですか。
(A) 入居者は自治会に全戸加入が原則であります。
- ④ (Q) 監事は他の役員と独立した立場にすべきではないのか。
(A) 少ない人数の役員で活動しているので、他部応援を含めて協力していく必要があります。ご理解ください。



ご提案ならびにご要望としては、

①新白岡駅のホームの屋根を広げるように町に働きかけては、②犬の散歩・フンについて等々がありました。

本総会におきましてご承認いただきました活動計画および予算に則り、会員の皆様のご意見を反映させた自治会活動を円滑に進めてまいりますので、自治会活動に対するなお一層のご協力とご理解をいただきますようお願い致します。

最後になりましたが、当日ご出席の会員の皆様、そして早朝より総会準備等お手伝いをいただきました班長の皆様に厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。

この街 昔、今…、未来

会長 森田 貴美子

総会の会場に手を引かれて入ってきた幼な子に「あなたのお家はどこ？」と聞けば、「ニュータウン！」と顔を輝かせる。東小学校4学年教材「ニュータウンの開発」を読めば、「…生垣のある緑の多い美しい町」の文字が飛び込んでくる。この子らの10年、20年後につながる意味のある活動を探りたい。

「自分達の街は自分達で守ろう！」と呼びかけ合って、防犯／防災に取り組み始めたのは約10年前だろうか。熱心な先駆者の意気込みで、自主防災会活動、歳末警戒が年中行事に定着していった。また、「自分達の街は自分達の手できれいに！」と、行政主導計画に先駆けて初夏はもちろん、秋、さらに年度末3月の年3回もクリーン運動に取り組んだ時期もある。「白岡ニュータウン」への熱い思い入れとエネルギーに満ちた、なつかしい時間と仲間達であった。



昨年の班会実施率の高さや各部の取り組み姿勢と実績、頼りがいのあるボランティアの支援には、往時のエネルギーに匹敵するひたむきさと仲間意識を感じた。誰しも厄介なハードルは、できることなら避けたいものだが、敢えて困難な課題に向きあうことも、次世代の子らに禍根を残さないための投資である。しかし、真剣に向き合い、事細かに取り組むことが、さらに厄介な課題を生じることになるのは皮肉なものだ。全戸加入の底力をもってしても「挨拶」や「緑」が時には難しい課題になってきている。「見ないで済みますか」「直視するか」の会長としてあるまじきジレンマに揺れつつ、また、この1年間がスタートした。幸いにして、総会出席率70パーセント（含む委任状）は久しぶりのこと。自治会活動への追い風となることを期待したいものである。

【17年度重点取り組みにご理解ご協力ください】

- ① 盆踊り予算に資源回収金を充当し、会員の費用／班長業務の負担減を目指します。資源回収への積極参加をお願いします。
- ② 地上波デジタル化に対応し、CATV 共有施設の更新に着手します。
- ③ 不意の地震に備え、不断の準備と地域協力を根付かせましょう。
- ④ 緑化規約によって守り抜きたいことと、諸事情による改修の許容範囲を継続して検討します。
- ⑤ 会員のマナー向上を期待し、通年の地域美化に取り組みしましょう。
- ⑥ 行事、班会を通して、出会い、話し合いの場をひろげましょう。
- ⑦ 「出来ること」「出来る時」の声をかけあって、自治会活動／班活動を支えあいましょう。ボランティア登録への積極的参加をお願いします。

《退任役員からメッセージ》

『行政区長退任に際して』

前副会長 横山 久磨尾

白岡ニュータウンへ平成3年12月入居して8年目に初めての班長の順番が廻ってきた。例の班長会において役員を命ぜられた。まだ現職であったので重い役は駄目よと云うことで監事を引受けたのが、運の憑き4年間務めることとなった。監事は部に所属することとなっているので、文化部に所属し、「盆踊り大会」の企画・立案から実行と、お祭りの協賛金集め等4年間楽しくやらせて頂きました。役員もこの辺で辞めようと思っていたところ、今度は、1・2丁目の行政区長をやる人が居ないと云うことで行政区長を2年間務めることとなった。この間、住民皆様のニュータウン地域内において、安全にそして安心して暮らせるための礎として微力ながら務めて参りました。行政区長は、ミニ自治体の長であり「揺籃から墓場まで」を標榜して、2年間地域住民の皆様の寧日を願って、本日を迎えることが出来ました。

これまでの間、会員皆様及び役員各位の陰に陽にの温かいご支援ご協力を賜り大過なく責務を全うすることが出来ました。ここに心から感謝とお礼を申し上げまして退任の挨拶に代えさせていただきます。



『退任に当たって』

前防災・防犯・交通部部長 中川 俊彦

正副会長さんを始めとする役員の方のご指導と部員の方のご協力などを得て、この1年間何とかやってきましたが、私自身の力不足のせいで、新機軸を出すに至らず、前例を踏襲するだけに終わってしまったことを申し訳なく思っています。

ただ、一つ、安全で安心して暮らせる街づくりを目指して、久喜警察署の呼びかけによるニュータウン地区内での自主防犯パトロールが、昨年春にスタートしました。以来、月1回のペースで、去る4月末までに計9回実施されて来ました。しかし発足間もないこともあってでしょうか、参加者が極めて少なく、またその顔ぶれもほぼ固定しているのが現状で、これといった名案も見出せないまま今日に至っています。

また何時来てもおかしくない、と言われ続けて久しい東海地震への備えについても、検討すべき課題は多々あると思います。

装いも新たに保安部としてスタートした新体制の下で、住民の多くの皆さんが、「出来る時に、出来る事に」ご参加下さることを願って、退任のご挨拶と致します。

『活動を振り返って』

前子供部部長 上村 陽子

「私も1児の母。子供部にしよう。」2年前の3月、班長引継ぎ会でくじに大当たりし、当時4ヶ月の我が子を思いまた自分の裁量を考え不安に思いながら役員を引き受けました。

子供部の活動は経験・意見が豊富&行動力ありの班長さんに助けられ活気あるものでした。今年2月に行われたお楽しみ会は生憎のぼたん雪模様。参加人数が50人弱と淋しいスタートでしたが・・・子供達は輪やボールを投げては本気で喜びくやしがり、プラパンでは個性豊かな作品が次々生まれ、紙飛行機が歓声の中飛んでいく・・・という熱い内容となりました。

役員として戦力にならなかったように思いますが、晴れやかな気持ちで任期を終えられる事は、多くの方の助けがあったからと感謝しています。子供を抱え、負担に感じた事もありますが、今たくさんの方と関わった事を財産に思っています。

何年後かに我が子がお楽しみ会に参加し、どんな風景が見られるか今からとても楽しみです。



『慌しくも、楽しい1年でした』

前企画部副部長 山口 絵以子

第1回目の企画部の集まりで、仕事は『緑化規約・ペットマナーとふれあい音楽会』と告げられ、自分がいかに自治会のことを知らないかに驚いてから瞬く間に1年が過ぎてしまいました。緑化・ペットの担当役員となり、5月の2chデビュー・6月の犬の落とし物調査から翌年3月のアンケート結果報告までの間に「緑化規約適合確認書」の手続きもあり“慌しかった”の一語につきますが、なんとか17年度役員にバトタッチできたのも16年度担当班長各位が主体的に活動してくれたからこそ、と感謝の気持ちで一杯です。会長、15年度企画部長には1年を通じ助言・助力をいただき、また部長には暖かく見守っていただきました。

一身上の都合により2年目を引き受けることはできませんでしたが、総務部に企画の緑化・ペットが引き継がれることで総合的な運営が可能となることから、新体制に期待しております。各部役員の皆様にも、お世話になり本当にありがとうございました。



『自治会の更なる発展を祈って』

前広報部部長 京野 久也

地域社会に関わりをもつこともなく過ごしてきましたが、15年度に班長の順番がまいりまして自治会活動に初めて参加しました。その年広報部に属し、16年度に広報部長を務めました。

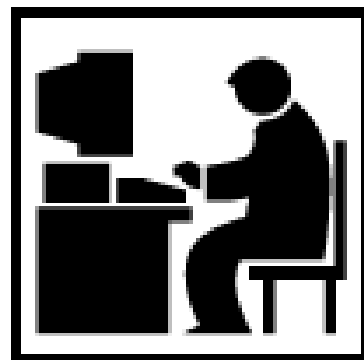
2年間自治会活動に参加し、想像していたのはかなり違う活発で仕組みのしっかりした組織なのがまず驚きでした。

このニュータウンはいろいろな面でレベルが高いうえに、新興住宅地として開発された時から、開発者である「総合地所」や初期の段階に入居された先輩の方たちが優れた自治会の基礎を構築されたことによるものと思います。

2年ほど前から腎不全を患っており、体調不良で必ずしも満足にお役にたてなかったことが残念です。しかし、昨年の広報部員の方たちは多才にして皆さん人柄のよい方ばかりで、全員で楽しく協力しあって役目を無事に果たせたのではないかと思っております。特に副部長の菊地さん（今年度の広報部長）には機器類にも強く、真面目で積極的な人柄でなにかと至らない私をよくサポートしてもらい大変助かりました。

「自治会だより」は会員の方たちが読みたくなるような機関誌にするべくテーマを選定したりしましたがまだ改革途上です。2チャンネル放映もまだまだ会員に親んでもらえる情報ツールにすることも可能な素養をもっております。デジタル化の進展と併行して今後の活用を図って模索していければ楽しいシステムになる筈です。

在任中に至らなかったことをこれからの広報部の方たちや自治会関係者の方たちにお願ひし、この自治会の更なる発展を祈っております。



『長い様で短い二年間』

前監事 笠井 朋子

長いようで短い二年間でした。かなり気の抜けた監事でしたが、森田会長をはじめ、多くの方々のおかげで無事任期を終える事が出来ました。本当に有難うございました。

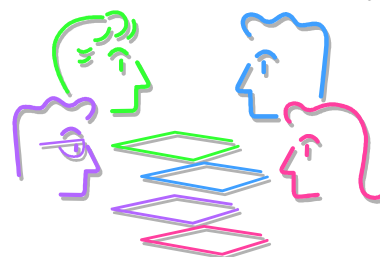
2ch はほぼリアルタイムで町内の重要な情報を得られるので重宝しています。毎週の更新は大変だと思いますが、広報部一丸となって頑張ってください。



『退任に寄せて』

前文化部副部長 林 茂

2年間、白岡ニュータウン自治会役員を務め、今回退任することになりました。当初は、くじ引きで幸運(?)にも役員座を射止めてしまい、何も分らない中出席した役員会で、CATV管理費持分問題等話している内容が理解できずに、基本的な質問を繰り返していたこと、それに対し先輩役員の方々が丁寧に対応して頂いた事など、なつかしく思い出します。担当分野としては、台風接近で中止した15年夏の子供お楽しみ会、15年度監査報告、昨夏猛暑の中の盆踊り大会等、監事・子供部会、文化部で活動しました。真剣な議論の場である役員会に参加し、自分が住んでいる白岡ニュータウンのいろいろな問題について、非常に勉強になった2年間でした。犬の散歩をしていますが、ペットマナーの看板はもとより、二段植栽、防犯灯、CATV分岐分配器・保安器等、違った視点で見るようになりました。森田会長はじめ役員・班長・会員のみなさまには、大変お世話になりました。本当に有難うございました。

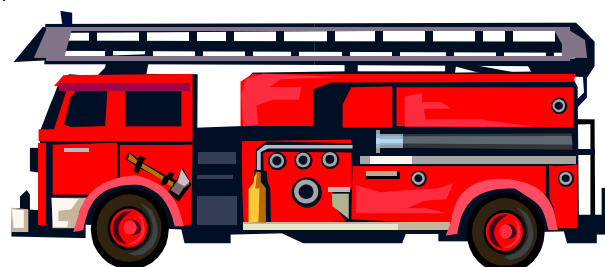


『防災・防犯・交通部に携わって』

前防災・防犯・交通部副部長 椎野 啓子

平成15年度より2年間、防災・防犯・交通部の自治会役員を引き受けさせて頂きました。

当初は長いように思えた自治会役員も振り返ってみると、あっという間の2年間で多くの貴重な体験をさせて頂いたと思っております。平成15年度の秋には自治会による総合防災訓練が行われ、ニュータウンの皆さんと真剣ではありましたが楽しい雰囲気に参加することができ、また、平成16年度には3年に一度の白岡町総合防災訓練が実施され、白岡町役場の防災関係者及び住民の皆さんなど約1000人が参加しての実践に即した大規模な防災訓練でありました。ルネ・グランテラスの高層住宅防災訓練もはしご車があんなに長く伸びるものなのかと感心したものでした。最近、テレビや新聞等での多くの災害報道を見るにつけ、それぞれの家庭での防災対策はもちろんですが、このような地域での連帯実地訓練も非常に大切な活動であり、この2年間大変良い経験をさせて頂いたと思っております。



『監事退任に当り一言』

前監事 岡本 弘道

自治会17年度定期総会も無事終了、今年は役員を自己都合により退任させて頂く事になりました。会員、自治会役員、事務局各位にはいろいろとお世話を相成り、厚くお礼を申し上げます。

自治会活動に関係して4年、最初の2年は広報の仕事、自治会だより、2チャンネルの立ち上げに悪戦苦闘。3年目は腰の術後の後遺症で役員を退任、住民として外から自治会を眺め、そしてこの1年は監事として自治会内部から自治会・ニュータウンを眺め、裏方として総務のお手伝いをしながら、年度末の監査、これと言った仕事も出来なかったかと反省しています。

ニュータウンも17年の歴史を歩み、高齢化が進む中、リフレの杜、ヤオコー西側の新しい街と住む方の世代の多様化、そして自治会内部もかなりの変化が発生し、ニュータウン全体が大きな変革期にさしかかっていると認識を強めています。

そんな中で監事の役割は自治会の資産・資金・収入・支出の全てを十分精査し、その執行が自治会の発展と住民の為となっているか否かを監査することが仕事である。従って当然に会計の執行を監査することは自治会全体の行う活動全般にわたって監査することにつながり、それに対して指摘し、意見を述べることは監事に果せられた責任・権限であるかと思えます。複雑化して行く自治会員の為に、自治会から独立した立場の監事の役割は大きいものと考えます。その点私の力の至らなかった事を反省しております。新監事の方へ望みを託します。

自治会だよりが発行される頃には二段植栽のさつきも綺麗なことでしょう。「挨拶と花と緑のニュータウン」。住民の方々のふれあいを一層強め、住み良い街造りにと、自治会の益々の発展を期待します。



《新任部長からメッセージ》

『平成 17 年度 保安部の活動方針』

保安部部長 折本 勉

今年度より、従来の防犯・防災・交通部の三部門の組織名が、保安部と言う短い名称に変わりました。活動においては従来どおりです。名称も変わったことなので、今までの活動にプラス新しいものを取り入れて挑戦していきたいと思っています。ここ近年、特に昨年は犯罪や災害が多発した年でした。「私たちの街は、私たちの手で守って行こう」自治体・事業者・県民・警察が連携協同して「犯罪を起こさせにくい地域環境作り」に取り組んでいきたい。「警察活動の充実強化」を願うことはもちろんですが、それに加えて「私達の身近な場」で「できる活動」を通して「防犯の街づくり」を目指して行きたいと思います。但し、私たち保安部 14 名の力だけでは解決できるものではありません。会員ひとりひとりのご協力と、ご指導を仰がなければやっていけないものではありません。私達の街を「安全で安心して暮らせる街づくり」に皆さんと手を取り合ってチャレンジして行きたいと思えます。

『子供部員 10 名一致団結』

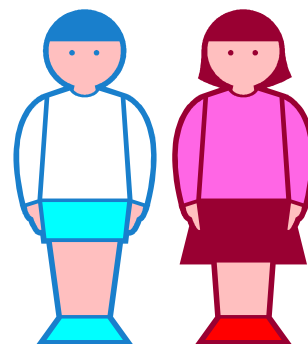
子供部部長 山野辺 範高

昨年度の副部長に続き、今年度部長として子供部の運営に携わって行きたいと思えます。子供部の主な活動は、毎月の資源回収の実施と 2 月に行われる子供お楽しみ会の企画・運営です。資源回収は、自治会の貴重な収入源となっており、会員皆様の日頃のご協力のおかげで毎月沢山の回収が実現できております。今年度の資源回収の収入は、行事（盆踊りなど）に利用されます。

もっと多くの資源回収が実現できれば、より盛大な行事が実現できることになりまますので、今後とも会員みなさまのご協力をお願いいたします。

子供お楽しみ会は、自治会行事の最後を飾るもので、多くの子供達が楽しんでもらう楽しい会であります。昨年度は、紙飛行機飛ばし・プラ版製作等を行いました。今年度も、子供達が心の底から喜んでもらえるような企画を考えたいと思えます。

子供部員 10 名の一致団結のもと、子供部の活動を通じ白岡ニュータウン自治会の発展に寄与したいと思えます。



『衛生部の活動について』

衛生部部长 中村 茂

8年前にルネ・グランテラスの分譲申込みに、ヤオコーを過ぎてから新白岡駅に向かって車を走らせている時に見た、緑の樹木がアーチのように生い茂った歩道や戸建の生垣群のプロムナードは、いまだに心に焼き付いています。

昨年、縁あって自治会・衛生部の役員の任に当たり、この白岡ニュータウン自治会のエネルギーあふれる活動の渦潮の中から、17年間の諸先輩方の努力の結晶を痛切に感じている一人です。

衛生部の主要活動は、5月と9月の「生垣・庭木害虫駆除の一斉実施」と5月と11月に白岡町全域開催の「ごみゼロ・クリーン運動の実施」があります。

今年も衛生部は各部に先がけて活動を開始しました。第1回衛生部会には、14名全員が集い好スタートを切り、皆様のご協力により前半5月の主要行事の準備が整いました。

さて今から秋の「街路樹の落ち葉処理」の心配するのは早いかもしれませんが、例年ボランティアの方々のお力に負うところが大きいことです。

11月～12月中旬の間に3回程度、「街路樹の落ち葉処理」を皆様のご協力により実施いたしたいと思えます。

「挨拶と花と緑の明るいニュータウン」の維持・継承にご協力をお願いします。



『アクティブな広報部を目指して』

広報部部长 菊地 忠晴

昨年広報部の役員になって、2チャンネルの入力、自治会だより編集、自治会活動表彰の資料作成そしてデジタル対応検討委員会とあつという間に1年間が過ぎました。今年責任者として、今まで以上にアクティブな活動をしてゆきたいと思えます。今年度広報部として次の項目を重点にして取り組みます。

- ① 全員参加で、協力しあい、明るく活動する。
 - ② 受身の仕事だけでなく、積極的に取材活動を行う。
 - ③ 2チャンネルは見やすく、写真も多くする。
 - ④ 自治会だよりを1ページカラーにして綺麗に、見やすく。
 - ⑤ 子供からお年寄りまで見てもらえる『2チャンネル』と『自治会だより』にする。
- 以上、11名の広報部のメンバーで1年間活動して行きます、よろしくお願ひ致します。

《大宮駅から深夜バス運行中》

「宇都宮線は終電が早く不便だ」と言う声をよく聞きます、上野駅 23時38分の終電の時間を気にしながら駅へ急いだ経験のある人も多いでしょう。

国際興業バスの深夜バス『ミッドナイトアロー蓮田・久喜』が2月24日から運行開始しました。

大宮駅東口 1:00 発、東大宮駅、蓮田駅、白岡駅を經由して白岡ニュータウン入口（ヤオコー前）に 1:49 着、新白岡駅東口に 1:52 着の1日1便のみで、料金は大宮駅から 1,700円です。

宇都宮線終電（上野駅 23:38→大宮駅 24:05）に乗り遅れた場合でも遅くとも京浜東北線（上野駅 0:03→大宮駅 0:48）で大宮駅まで来てこの深夜バスを利用すればタクシーよりは、ずっと安く帰宅出来ます。

便利になったと言っても深夜バスの常連客にならない様に早く帰りましょう。



大宮駅東口 9 番乗場
(高島屋の道の前) 1:00 発



白岡ニュータウン入口 (1:49 着)
(ヤオコー前)



新白岡駅東口 (1:52 着)

(平日深夜 1 便のみ、土日祝日は運行していません、バス時刻は目安です。)

..... 国際興業バス資料より)

《広報部》

《白岡町消防署へ突撃取材》

白岡町寺塚にあります白岡町の消防署に広報部で取材に行ってきました。消防署は総務の矢島さん、技術の牧島さんのほかに、井原署長も質問に対して親切に対応して頂きました。



Q 1 : 白岡ニュータウンは住宅地が開発されてから、今まで住宅火災が発生していないと思えますがいかがでしょうか？

また白岡町全体での火災発生率はどのようなものでしょうか？

- ・ 白岡町全体では過去に工場火災（岡泉）が一番大きな火事であった。（死者なし）
- ・ ニュータウン内ではゴミ箱火災、電話ボックス内での火災等5件です。（いずれも小火）
- ・ 町全体で昨年は22件発生しています。

Q 2 : 最近、新潟中越地震、福岡沖地震等大きな地震が相次いでいますが、地震に対する備え、また地震が発生した場合の注意すべき事は？

- ・ 発生した際には身の安全、火の始末、出口確認をしてください。
- ・ 事前にはタンス、テレビ等家具の固定、訓練等が必要です。
- ・ 対応マニュアルが役場の庶務課にあります。
- ・ 普段からご近所とのコミュニケーションを取る事が大切です。
- ・ 消防署では実態に応じて人員を召集し対応します。
- ・ 災害が発生すると救急車、消防車等現場に行くことが困難な時もある。そのためにも隣近所が力を合わせて事に当たることが大切です。
- ・ 自分たちの身の安全は自分たちで守る精神、そのためにも普段からご近所とのコミュニケーションを大切にす、ご近所の底力がものを言います。
- ・ 災害で必要とされる機械、用具等の確保、収納されている場所を明確にしておく。

Q 3 : 119番の火災、救急へ通報する場合の注意点は？

- ・ 火事を目の前にすると誰しも混乱しがちであり、先ず落ち着くことです。
- ・ 場所、燃えている物、ケガの状況等最小限の内容でもよいからしっかり述べてください。
- ・ 連絡のマニュアルを掲示しておくといよいでしょう。
- ・ 番地の連絡だけで署のコンピューターが作動し、地図の上での場所の特定を行う事が出来ます。

Q 4 : 白岡消防署管轄の火災、救急のデータがあれば教えてください。

- ・ 昨年出動した1526件の内860件が急病（ベスト1）です。
- ・ 交通事故が244件 火災は22件ありました。



総務担当の矢島さん

Q5：白岡消防署の人員、設備はどのようになっていますか？

- ・ 68人 3交替制です。（シフト人数は17名が1班、18名が2班）
- ・ 設備についてはタンク車、はしご車、救急車（3台）、機械工作車（レスキュー）、ポンプ車、化学車、先導する指揮隊として使用する車があります。
- ・ すべての連絡は先ず通信指令室へ入ります。

Q6：白岡で災害が発生して、白岡消防署だけで対応出来ない場合の周辺消防署の連携について

- ・ 埼玉全体が4ブロックに分かれているが白岡は東部地区で栗橋、羽生等東武沿線や、八潮、三郷との応援連携が結ばれています。

Q7：通報してから現場到着までの平均時間は？、また道路渋滞の対応は？

- ・ 救急車5分（全国平均は6分程度と思われます）
- ・ 道路の渋滞は日頃から把握しています。

Q8：白岡消防署における特徴や今後の課題と考えられる点がありましたらお聞かせ願いたいと思います。

特徴

- ・ 住民の立場に立つて行う。
- ・ 災害が起きたときは分かりやすく説明する。

課題

- ・ 大きな災害が起きた時の対応、救助器具整備や応援協定です。



<雑感>

署長さんを始めとして署のみなさんがこちらの質問、活動の様子等について大変丁寧に分かりやすく時にはジョークを交えながらお話ししてくださいました。今までは漠然とした知識しかなかった私ですが、消防署の施設や組織、内容について具体的に理解することができました。また消防署と聞くとお役所的な堅いイメージがありましたが少しは親しみをもって感じられるようになった事も事実です。

そして、何よりも「私たちの職務は地域住民のみなさんの立場に立つて活動する事だと思ふし、実際行っています」と語られた署長さんの力強い言葉と他の職員のみなさんの仕事に対する熱意とその真摯な態度に大変感動いたしました。こう言う方々に私たちの生活は守られているのだと言う思いを強く致しました。また大災害の時にはご近所のみなさんと手を取り合い、一致団結、協力をして非常時を乗り越えていくことが更に大切なことであると言う言葉に頷きながら貴重な取材の体験を終えた1日でした。

《取材：広報部/小野寺》

Q & A コーナー

Q1 : 剪定後のケヤキの樹形に疑問がある。剪定基準はあるのでしょうか。

A : 15年度冬季の剪定に際しては、自治会役員と道路管理部門の建設課担当者が現地で協議し、街灯の照度に支障のない高さ、近接する住宅への影響を配慮し、基準を取り決めました。自然の樹形を維持するには歩道巾が不十分ですので、近隣家屋への弊害は避ける方針です。なお、駅前通り（西部分）は、豊かな枝ぶりを残す地域にしています。



Q2 : 入居以来、住宅地内の側溝清掃はしていない。蓋を上げて手入れをしたい。

A : 基本的には、住人による清掃活動として、生活排水が流れる地域では実施しているが、蓋の重さのため大変な苦勞を伴っているのが実情。当地域は、雨水のみであり、堆積状態もまだ余裕があるので今は不要と思われます。なお、用具は行政側より借用できます。



Q3 : 防犯灯のワット数／高さ（位置）の改善を要請したい。

A : 昨年度より自治会を離れ、白岡町の管理となりました。当地域の防犯灯件数は多く、以前に自治会で試算したこともありましたが、一斉変更は予算上困難でしょう。ただし、球切れによる交換時には、順次高さを下げてもらっています。



Q4 : 個人情報保護の立場から、総会資料記載名簿の再考要請と別刷りを提案。

A : 今期は事務局での種々資料の管理について指示したところですが、ご指摘についても重要課題として受け止め、役員会で協議開始しました。総会資料には、氏名のみ記載し、活動上の連絡に要する住所電話等の資料の別刷り、年度役員と班長間のみ配布などを今後検討していきます。



編集後記

今年度の広報部メンバーは昨年と比べると平均年齢がかなり若くなったと思われまます。ただしそのため平日活動できる人も少なくなりました。また班長さんで2回目という人も何人か出てきました。『次も広報部を担当します。』・・・と言ってもらえる様に1年間楽しく活動して行きます。